

## 令和3年度 第1回坂東市行政改革懇談会 会議記録（概要）

1 日 時 令和3年10月25日（月）午後1時30分～午後3時00分

2 場 所 坂東市役所3階 大会議室

### 3 出席者

(1) 委 員 田村光子会長、林淳一副会長、泉一之委員、上坂理一委員、  
神戸俊裕委員、倉持せつ子委員、霜田礼子委員、白澤航洋委員、  
田中聡委員、寺田智美委員、古谷直美委員

欠席者 東田竜司委員

(2) 木村敏文市長

(3) 事務局 企画部長、企画課長、課員5名

### 4 会議要旨

(1) 委嘱状交付

(2) 市長挨拶（要旨）

昨年より猛威を振るう新型コロナウイルスの影響により、日常生活が激変する中で、本市といたしましても感染拡大防止や緊急経済対策などの各種対策を講じてきたところでございます。

当市では他市に先駆けて新型コロナウイルス対策室を設置し、ワクチンの確保・接種の促進に努めるとともに、プレミアム商品券事業などをはじめとする消費喚起のための各種施策の実施など、様々な施策を通して、皆様の生活を第一に、柔軟に対応を進めてまいりました。

今後につきましても様々な施策を通して、引き続き市民の皆さまが安心して生活できるまちづくりを推進してまいります。

さて、本日も議論いただきます「行政改革」の分野についてですが、市長就任以来、「みんなでつくる」という理念のもと、市民の皆様からお預かりした貴重な税金を、無駄なく、ご期待に寄り添うような使い方に転換すべく、様々な改革を進めているところでございます。

限られた財源のなかで選択と集中を行い、今の坂東市に真に必要な事業を実施するとともに、前例踏襲ではなく、費用対効果の確認や効果検証を行い、改革や改善を図りながら、経営的視点での市政運営を目指してまいりたいと考えております。

本日の行政改革懇談会につきましては、社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率

的な市政の実現を推進するための機関として、市の条例で定め、設置する重要な機関となっております。

委員の皆さまにおかれましては、様々なご立場や識見から、ぜひ忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げます、私からのご挨拶とさせていただきます。

(3) 議事

①坂東市行政改革の概要について

(意見なし)

②坂東市新行政改革プラン 2018-2021 実行計画の評価概要について

5 意見交換・質疑記録 (概要)

②坂東市新行政改革プラン 2018-2021 進捗状況結果について

1. 「みんなで作る」市政改革

事項	意見・質問 (要旨)	回答 (要旨)
<p><b>17</b> 放課後児童クラブ運営委託に向けた取組</p>	<p>七重小学校の場合、通学の区域が広範囲となっている。半谷地区にはバスが出ているが、それ以外の地区にはなく、遠い距離を通学している子どもたちがみられる。林の中などは危険と思われるため、低学年が高学年の授業終了を校内で待ち、揃って下校する日があるが、この待ち時間の間、学校の先生方が面倒をみてくれていた。しかし、10月以降は各家庭でご対応いただきたいという事となってしまう、保護者等の協議を実施した結果、今年度においては従来通り対応頂けることになったが、今後家庭での対応となった場合、対応できない家庭がでてしまう。また、学童も定員に達してしまい、入れない状況と聞いている。放課後に子どもを預けられる環境の充実を早急に検討していただきたい。</p>	<p>坂東市では各小学校区に児童クラブを設置させていただいております。学童が1人で見られる上限数というものが決まっているため、その範囲で定員を定め対応しております。通知等について内容を拝見していないので今お答えすることは難しいですが、いずれにいたしましても、このご意見を担当課へおつなぎさせて頂きたい。</p>

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
<p><b>17</b> 放課後児童クラブ運営委託に向けた取組</p>	<p>つくば市では行政でなく、民間が児童クラブのような取組を実施している。この取組は有料で経済的な負担もかかるかと思うが、同様の事例が坂東市に存在するか伺いたい。</p> <p>（上記の回答に対して） 私もその放課後こども教室を存じ上げているが、この取組を拡充していくためには、行政だけでは人間的な問題などもあり、困難と考える。民間と協力し、受け入れ態勢を拡充していくことで、放課後の子どもたちの預け先の確保など問題解決に繋がっていくのではないかと思う。</p>	<p>坂東市では現在同様の取組を民間のみでは実施しておりません。しかし、それを補うような取組として、地域の方と一緒に放課後を過ごす、放課後こども教室という取組を生涯学習課で実施しております。</p> <p>—</p>
<p><b>その他</b> 学校再編について</p>	<p>（上記の回答に対して） 関連ということで申し上げるが、市内のある小学校の児童数は50人にも満たない児童数となっており、今年度の入学者数も2名であったと聞く。同級生が多い中での生活により育まれる社会性・競争意識もあると思う。桜川市や河内町などは既に小中一貫の教育の形を作っている。もう少し坂東市も教育の分野に目を向けていただいて、真剣に検討いただきたい。</p>	<p>—</p>
<p><b>その他</b> 子育て支援について</p>	<p>（上記の回答に対して） 私の地区の小学校も年々人数が減少している状況にあるため心配している。 また、最近は子どもたちの登下校や進学のことなどで困っているという声をよく聞く。実際、子育て支援が充実している近隣の市町村へ出て行ってしまおう方が多い。坂東市の未来を考えると、子育て支援の充実を図っていかないと、子どもがいなくなってしまう。是非ご検討いただきたい。</p>	<p>—</p>

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
<b>その他</b> 空きスペース等の利活用について	（上記の回答に対して） 少し話が変わるが、以前長須小学校の改修の際に、長須幼稚園のトイレの改修も実施した。しかし、改修後利用されずそのままになっているため、もったいないという話が多く出ている。出来るならば、元教員の方などにお願ひし、園舎を利用して少しでも子どもたちを預かれるような場を作っていただきたい。ほかの地域でも同様に使われていない施設があると思うので、是非とも子どもたちに役立てて頂ければと考える。	—

## 2. 「後世に負担を残さない」財務改革

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
<b>35</b> 市補助金制度の再構築	<p>私が所属する団体では、3年間市の提案型補助金をいただいて活動も活発化し、非常に助けていただいたが、期限である3年が経過し、以降は収入減によりなんとか継続している状況である。</p> <p>活動が市の活性化を目的としていることから、少額でもよいので、それを継続できるような形や何年か継続して活動している団体に対して補助金を出すような形にするなど補助金の分配方法の見直しをお願いしたい。そのような補助金があればさらに活性化するのでないか。</p> <p>また、ある団体はプレゼンなどがネックとなり、補助金に手を挙げられないという話を聞いた。今後このような団体も増えていくと考えられるので、見直し等はしていただけるか。</p>	<p>貴団体へ支給していた補助金は「市民協働によるまちづくり推進事業補助金」と思われるが、この補助金は団体を立ち上げる際に3年を上限に支給するものとなっています。</p> <p>お話しいただいた補助金は、立ち上げが一段落し、次の活動に移る時の資金として継続できる提案型補助金を考えていく必要があるといったことだと思いますが、今すぐ結果を出すことは難したため、ご意見として受けて検討させていただきたいと考えます。</p> <p>また、プレゼンが大変で補助金に手をあげられないという意見に対しては、補助金は内容を精査し、それに対して支給可否の判断が必要になるため、ある程度のプレゼンなどは必要だと考えます。</p>

## 3. 「おもてなし」を体現するサービス改革

※意見なし

#### 4. 「力強い市役所」をつくる組織と人材の改革

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
<p>74 ペーパーレス 会議の導入</p>	<p>評価が過去より全てCとなっているが、具体的な取り組み例があれば伺いたい。</p>	<p>今年度より庁議をペーパーレス化しております。</p> <p>また、コロナ禍の影響もあり、外部との会議において、インターネット会議などの画面を通して実施する会議も増え、資料も同様にペーパーレス化され、会議の方法も変化してまいりました。</p>
	<p>やはりこれからの時代はペーパーレス化だと考えている。所属の団体では5年前からタブレットを各役員に持たせて実施している。市では庁議で実施しているとのことだが、今後市議会等でも取り入れていただき、よりペーパーレス化を進めていただきたい。</p>	<p>（意見として拝聴した）</p>